

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	ヘリでホイスト収容中にホイストワイヤーがランディングギア(ヘリのタイヤ)に引っかかったもの
3. 体験した事例の中心的要素	ヘリでホイスト投入・収容訓練で、ダブルホイスト(2名同時)収容を実施中に機体が揺れたため、吊られている隊員が大きく回転し、機体まで残り5m程のところ、ホイストワイヤーがランディングギアに引っかかってしまったもの。(ホバリング高度約25m)
4. 体験した事例の原因・理由	1 ホイスト操作員が新人隊員であったため、吊られる隊員の真直上へ機体を誘導せずにつり上げたため揺れが発生したもの。 2 この揺れを止めずにピックアップを継続したため機体近くで揺れが大きくなったもの。 3 気流が悪かったため、機体が安定せず、ピックアップ中に機体が動いたため揺れが大きくなったもの。

【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	状況判断に問題があった。 行動の実行に問題があった。
------------------	-------------------------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成21年6月9日 午後3時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：ダム空き地上空
4. 体験した事例の種類	他人が、回答者を負傷させそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	死亡していた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	墜落・転落
7. 事例体験時の活動	演習訓練、[救助(通常時)]
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	その他：ホイスト収容訓練
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



○当事者A	年齢[38]歳、勤続年数[17]年、現場経験年数[17]年、階級[消防司令補] 同様の活動 [頻繁]、任務 [隊員]
○当事者B	年齢[44]歳、勤続年数[9]年、現場経験年数[9]年、階級[消防司令] 同様の活動 [頻繁]、任務 [機関員]
○当事者C	年齢[34]歳、勤続年数[11]年、現場経験年数[11]年、階級[消防士長] 同様の活動 [頻繁]、任務 [隊員]
○その他(当事者が4人以上の場合)	当事者Aとほぼ同様の隊員1名と、安全管理のパイロット1名

11. 事例発生の経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者C	真直上に機体を誘導出来ずにつり上げを開始	経験が無いと直上が分からない
経過2	当事者B	機体の安定が不十分であった	気流の影響もある
経過3	当事者C	揺れている隊員を止めることが出来なかった	
経過4	当事者B	機体が更に動いた	
経過5	当事者A, D	ランディングギアに引っかかった	
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



- 事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？
- ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

資機材の機能が適切だった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭い場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について